

教育研究業績書

2017年10月20日

所属：日本語日本文学科

資格：教授

氏名：柴田 清継

研究分野	研究内容のキーワード
東アジア文化交渉史	漢字文化圏
学位	最終学歴
文学修士	広島大学大学院 文学研究科 中国哲学専攻 博士前期課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
1. 中国語初級教科書の作成→王霜媚・柴田清継・平坂仁志・市成直子・陳建平著『初級中国語課本』（好文出版）として出版。全82P	2004年04月	
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 三言選訳（下）	単	2008年3月	翠書房	<p>豊福健二、王順洪 中国語中級用のテキストで、中国旅行に役立つ会話と、中国に関する知識が平行して学べるように意図して編集したもの。</p> <p>豊福健二、王順洪 大学などにおいて中国語をはじめて学ぶ人達を対象に作成したテキスト。「発音編」「常用あいさつ語一覧」等を巻頭に配し、次に第一課から第二十課までは、会話文、文法の説明、練習問題を置いた。</p>
2. 三言選訳（中）	単	2007年3月	翠書房	
3. 三言選訳（上）	単	2006年3月	翠書房	
4. 初級中国語課本	共	2004年4月	好文出版	
5. 中級漢語－旅行会話と中国知識－	共	1994年04月	駿河台出版社	
6. 初級漢語教本	共	1994年02月	白帝社	
7. 母校留念	共	1991年4月	駿河台出版社	
8. 燕山夜話抄（講読シリーズ3）	単	1986年12月	東方書店	
2 学位論文				
3 学術論文				
1. 巖谷一六と清国文人王治本・陳雨農との交遊	単	2017年8月27日	書論第43号	p. 71-80
2. 王治本 明治十五、六年の北陸漫遊と詩文交流－加賀・越中・能登・越前	単	2017年3月10日	日本語日本文学論叢第12号	57-84頁
3. 明治三十九年 王治本の 尾張・伊勢・越前・三河における足跡と文藝交流（下）	単	2017年2月28日	武庫川国文第82号	25-46頁
4. 中国古典解釈における日中間の異同－高等学校国語教材を対象として－	単	2016年3月31日	武庫川女子大学言語文化研究所年報第26号	45-62頁

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
5. 明治十五年 王治本の旅と詩文交流―旅立ちから東海道を経て越前滞在まで―	単	2016年3月10日	武庫川国文第80号	21-36頁
6. 岡鹿門『観光紀游』訳注―その四	共	2016年2月26日	日本語日本文学論叢第11号	67-113頁
7. 明治二十六年 王治本の陸前・羽前等における足跡と文藝交流(下)	単	2016年2月26日	日本語日本文学論叢第11号	33-66頁
8. 明治三十九年 王治本の 尾張・伊勢・越前・三河における足跡と文藝交流(上)	単	2016年10月27日	武庫川国文第81号	p. 31-50
9. 明治二十六年 王治本の陸前・羽前等における足跡と文藝交流(上)	単	2015年3月5日	日本語日本文学論叢第10号	p. 49-101
10. 岡鹿門『観光紀游』訳注―その三―	共	2015年3月5日	日本語日本文学論叢第10号	p. 103-151
11. 明治壬辰 王治本の陸中・陸奥における詩文交流	単	2015年11月30日	武庫川国文第79号	42-52頁
12. 点描 小山松溪の生涯―主として漢文学の視点から	単	2015年11月15日	『新潟県文人研究』第18号	174-192頁
13. 岡鹿門『観光紀游』訳注―その二―	共	2014年3月	日本語日本文学論叢第9号	
14. 王治本 越佐の旅およびその間の詩文交流―追補	単	2014年11月16日	新潟県文人研究第17号	p. 6-15
15. 平安時代国際交流の一齣―菅原道真・島田忠臣と渤海使裴?との贈答詩を読む	単	2014年11月1日	武庫川国文第78号	p. 23-30
16. 明治二十年前半における王治本の足跡と詩文交流―九州北部、小豆島―	単	2013年3月	日本語日本文学論叢第8号	
17. 王治本の周防訪問および地元文人との文藝交流	単	2013年3月	武庫川女子大学紀要人文・社会科学編第60巻	
18. 岡鹿門『観光紀游』訳注―その一―	共	2013年3月	日本語日本文学論叢第8号	
19. 松崎鶴雄著作・作品目録	単	2013年12月	近現代東北アジア地域史研究会ニューズレター第25号	
20. 明治二十五年 羽後における王治本の足跡及び日本文人との交流	単	2013年11月	武庫川国文第77号	
21. 明治期高知における日中文人の交流―旅の詩人王治本を中心として―	共	2012年3月	日本語日本文学論叢第7号	
22. 黄炎培と朝鮮―その著『朝鮮』を中心として―	単	2012年3月	武庫川女子大学紀要人文・社会科学編第59巻	
23. 明治期滞日清国人王治本と地方の漢詩人たち―新潟の事例を中心に―	単	2012年3月	東アジア日本語教育・日本文化研究第15輯	
24. 王治本の藝備訪問および地元文人との文藝交流	単	2012年11月	武庫川国文第76号	
25. 王治本 越佐の旅およびその間の詩文交流―明治十六、七年を中心として―	単	2012年11月	新潟県文人研究第15号	
26. 明治前期神戸の華僑華人―漢詩文集・新聞・遊記等を主な資料として―	単	2011年8月	通説(神戸華僑華人研究会)第64号	
27. 漢学者松崎鶴雄 その日本文人との文化交流―大連在任期を中心に―	単	2011年3月	『日本語日本文学論叢』第6号	
28. 水越耕南と清国外交官との文藝交流―1880年代を中心として―	共	2011年3月	武庫川女子大学紀要人文・社会科学編第58巻	
29. 明治期高知における日中文人の交流―画家胡鉄梅を中心として―	共	2011年11月	武庫川国文第75号	
30. 水越耕南と『萍水相逢』―併せて萍水吟社について―	共	2010年3月	武庫川女子大学紀要人文・社会科学編第57巻	
31. 水越耕南と清国文人との文藝交流―清国駐神戸理事府初代、第二代の外交官を中心として―	共	2010年3月	日本語日本文学論叢第5号	
32. 鄭孝胥と神戸、関西の文人たちとの文藝交流	共	2010年11月	武庫川国文第74号	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
33. 日本占領期の韓国社会に対する同時代中国人の観察と思索－魏建功の在韓体験を例として－	単	2010年11月	??間SAI (国際韓国文学文化学会) 第9号	
34. 漢詩人水越耕南 (一八四九～一九三三) 研究序説－その生涯と著作－	共	2009年3月	武庫川国文第72号	
35. 水越耕南の初期の作品とその漢詩文ネットワーク『開口新詞』と『薇山摘葩』をめぐって－	共	2009年10月	武庫川国文第73号	
36. 従日本古典文学看徐福－絶海中津《応制賦三山》詩和五山文学	単	2008年9月	蘇州市徐福研究会徐福東渡国際学術交流会論文集	p. 30-33
37. 徐福日本渡来説と東アジアの民族意識	単	2008年8月	崔博光主編『東北亜近代文化交流関係研究』(中国・山東大学出版社) 所収	
38. 松崎鶴雄と中国の碩学たち	単	2008年11月	武庫川女子大学関西文化研究センター編『東アジアにおける文化交流の諸相』所収	
39. 松崎鶴雄 (1867-1949) と中国－あるテレビ番組をめぐって－	単	2008年11月	武庫川女子大学関西文化研究センター編『日本と中国の基本的人間文化－その普遍と個別－』所収	
40. 西島函南	単	2007年9月	孫文研究第42号	
41. 日本人は如何理解徐福東渡之説的	単	2007年2月	『徐福文化研究』(中国国際徐福文化交流協会) 2007 (総第15期)、後に楊丙田主編、秦皇島碣石暨徐福研究会編『碣石・東渡・秦皇島』(2008年5月)に転載。	
42. 三神山在日東説と韓国の文人	単	2006年9月	武庫川女子大学関西文化研究センター編『人間文化の諸相と東アジア－異文化とは何か－(関西文化研究叢書4)』所収	
43. 『日華新報』中文記事訓注－第871号－	単	2006年3月	武庫川女子大学関西文化研究センター編『関西文化の諸相』所収	
44. 『警世通言』卷二十四「玉堂春落難逢夫」訳注	単	2005年1月	『鳴尾説林』第12号	
45. 神戸発行『日華新報』の基礎的考察	単	2004年12月	『MKCRニューズレター』第2号	
46. 徐福伝説在日本－從古代到16世紀	単	2004年02月	?君・陳多友主編 中日比較文学比較文化研究 (中山大学出版社)	日中両国の関係資料の精査により、日本における徐福日本渡来伝説の発生から富士・熊野・熱田即三神山説の誕生・定着までの軌跡を導き出した。全 (pp. 9)
47. 『警世通言』卷二十一「趙太祖千里送京娘」訳注	単	2003年12月	鳴尾説林 11号	馮夢竜の短編小説集『警世通言』所収の「趙太祖千里送京娘」に詳細な訳注を施した。全 (pp. 20)
48. 中国名詞選訂補其十二	単	2003年11月	武庫川国文 62号	明治書院発行の新釈漢文大系『中国名詞選』の訓読・解釈等の誤りを指摘し、訂正した。全 (pp. 8)
49. 伝説上の海島と日本－徐福日本渡来伝説の起源を探るために	単	2003年08月	和漢比較文学会・中日比較文学会編 新世紀の日中文学関係－その回顧と展望 (勉誠出版)	唐代までの中国人の観念における伝説上の海島と日本との関係を考察し、もって日中両国における徐福日本渡来伝説の起源を探るための一助とした。全 (p. 15)
50. 中国名詞選訂補其十一	単	2003年03月	武庫川国文 61号	明治書院発行の新釈漢文大系に収められている『中国名詞選』の誤りを指摘し、訂正した。全 (pp. 9)
51. 鴻臚贈答詩読解についての私見	単	2003年03月	武庫川女子大学紀要人文・社会科学編 50巻	菅原道真が渤海使と唱和した「鴻臚贈答詩」の読解について私見を提示した。全 (pp. 9)
52. 『警世通言』卷十五「金令史美婢酬秀童」訳注	単	2003年01月	鳴尾説林 10号	明の馮夢竜の白話小説「金令史美婢酬秀童」に詳細な訳注を施した。全 (pp. 23)
53. 關於辛棄疾《水調歌頭・盟?》解的幾個問題	単	2003年01月	周元竜主編『詞曲研究の新拓展』(高等教育出版社) 第1版	宋の辛棄疾の詞「水調歌頭」(盟?)についての中国の諸学者の解釈を比較検討し、その正解を追求した。全 (pp. 5)
54. 菅原道真寛平七年対渤海使唱和詩読解についての私見	単	2003年01月	鳴尾説林 10号	菅原道真が寛平七年に渤海使と唱和した漢詩の読解について私見を提示した。全 (pp. 8)
55. 『警世通言』卷三十七「万秀娘仇報山亭兒」	単	2002年11月	火鍋子 57号	明の馮夢竜の白話小説「万秀娘仇報山亭兒」に詳細

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
報山亭児」 訳注				
56. 中国名詞選訂補其十	単	2002年11月	武庫川国文 60号	な訳注を施した。全 (pp. 12)
57. 西島函南と孫文・神戸華僑	単	2002年10月	通訊 (神戸華僑華人研究会) 45号	明治書院発行の新訳漢文大系に収められている『中国名詞選』の誤りを指摘し、訂正した。全 (pp. 8)
58. 西島良爾神戸在住期の対中国活動 — 『日華新報』の初歩的考察を 兼ねて	単	2002年07月	孫文研究 32号	西島良爾、号は函南と孫文・神戸華僑との関わりについて考察した。全 (pp. 3)
59. 柳永故事雑考	単	2002年07月	劉慶雲主編『柳永新論』 (海峡文芸出版社) 第1版	西島良爾の神戸在住期の対中国活動について、主として彼がその編集に当たった『日華新報』の内容と関連させて、考察した。全 (pp. 27)
60. 『警世通言』卷三十六「[■]角林 大王仮形」 訳注	単	2002年07月	火鍋子 56号	北宋の文学者柳永の人物像を探究するための作業の一環として、彼が宋・元・明・清のどのような小説や戯曲の登場人物となっているかを調査し、かつそれらの作品に見られる彼の人物像について考究した。全 (pp. 19)
61. 『警世通言』卷三十五「況太守断 死孩児」 訳注	単	2002年04月	火鍋子 55号	明の馮夢竜の白話小説「[■]角林大王仮形」に詳細な訳注を施した。全 (pp. 10)
62. 西島良爾 — 中国語とともに生き た明治人	単	2002年04月	関西黎明期の群像 第二 (和泉書院)	明の馮夢竜の短篇小説「況太守断死孩児」に詳細な訳注を施した。全 (pp. 13)
63. 中国名詞選訂補其九	単	2002年03月	武庫川国文 59号	明治から大正にかけて大阪と神戸で中国語の教育や対中国の種々の活動に従事した西島良爾の一生を、多くの史料にもとづいて再構成した。全 (pp. 36)
64. 小説戯曲における柳永の人物像	単	2002年03月	武庫川女子大学紀要 人文・社会科学編 49 巻	明治書院新釈漢文大系中の『中国名詞選』の誤りを訂正し、不足を補った。全 (pp. 9)
65. 『警世通言』卷三十一「趙春児重 旺曹家莊」 訳注	単	2001年12月	火鍋子 54号	宋代の詞人柳永は宋以後の数種の小説や戯曲の中に主役または脇役として登場している。それらの中での柳永の描かれ方を検討することによって、当時の中国人が彼をどのような人物としてとらえてきたか探究した。全 (pp. 9)
66. 『古今小説』卷三十七「梁武亭累 修帰極楽」 訳注	単	2001年11月	鳴尾説林 9号	明治の馮夢竜の短篇小説「趙春児重旺曹家莊」に詳細な訳注を施した。全 (pp. 11)
67. 『警世通言』卷三十「金明池呉清 逢愛愛」 訳注	単	2001年09月	火鍋子 53号	明の馮夢竜の短篇小説「梁武亭累修帰極楽」に詳細な訳注を施した。全 (pp. 22)
68. 中国名詞選訂補其八	単	2001年09月	武庫川国文 58号	明の馮夢竜の短篇小説「金明池呉清逢愛愛」に詳細な訳注を施した。全 (pp. 12)
69. 『警世通言』卷二十九「宿香亭張 浩遇鶯鶯」 訳注	単	2001年06月	火鍋子 52号	明治書院新釈漢文大系中の『中国名詞選』の誤りを訂正し、不足を補った。全 (pp. 10)
70. 在阪時の西島良爾とその中国語教 育活動	単	2001年04月	一海・太田両教授退休 記念 中國學論集 (翠 書房)	明の馮夢竜の短篇小説「宿香亭張浩遇鶯鶯」に詳細な訳注を施した。全 (pp. 10)
71. 中国名詞選訂補其七	単	2001年03月	武庫川国文 57号	明治から大正にかけての中国語教育者である西島良爾の大阪在住時の足跡を調査し、論述した。全 (p. 19)
72. 『警世通言』卷二十七「仮神仙大 鬧華光廟」 訳注	単	2001年01月	火鍋子 51号	明治書院新釈漢文大系『中国名詞選』の解釈等の誤りを指摘し、その真正なる解釈を追求した。全 (p. 10)
73. 『懐風藻』 読解覚書 (二)	単	2000年12月	武庫川国文 56号	明の馮夢竜の短篇小説である「仮神仙大鬧華光廟」に詳細な訳注を施した。全 (pp. 8)
74. 『古今小説』卷三十六「宋四公大 鬧禁魂張」 訳注	単	2000年11月	鳴尾説林 8号	従来岩波書店日本古典文学大系『懐風藻』(小島憲之著)等によって継承されてきた『懐風藻』読解の一部に疑義を呈し、より正確な読解を追究した。全 (pp. 16)
75. 『警世通言』卷二十三「楽小舎[■] 生覓偶」 訳注	単	2000年09月	火鍋子 50号	明の馮夢竜の短篇小説である「宋四公大鬧禁魂張」に詳細な訳注を施した。全 (pp. 24)
76. 『二刻拍案驚奇』第二十四「菴内 看悪鬼善神 井中談前因後果」 訳 注	単	2000年07月	火鍋子 49号	明の馮夢竜の短篇小説である「楽小舎[■]生覓偶」に詳細な訳注を施した。全 (pp. 7)
77. 『二刻拍案驚奇』卷六「李將軍錯 認舅 劉氏女詭従夫」 訳注	単	2000年04月	火鍋子 (翠書房) 48 号	明の凌蒙初の白話短篇小説である「菴内看悪鬼善神 井中談前因後果」に詳細な訳注を施した。全 (P. 14)
78. 中国名詞選訂補其六	単	2000年03月	武庫川国文 55号	明の凌蒙初の白話短篇小説「李將軍錯認舅 劉氏女詭従夫」に詳細な訳注を施した。全 (pp. 16)
79. 『警世通言』卷十九「崔衙内白鶴 招妖」 訳注	単	2000年02月	火鍋子 (翠書房) 47 号	明治書院新釈漢文大系『中国名詞選』の読解の誤りを正した。全 (pp. 9)
80. 徐福東渡日本伝説与韓国文人	単	2000年	国際中国学研究 (韓国 中国学会) 第3輯	明の馮夢竜の白話短篇小説「崔衙内白鶴招妖」に詳細な訳注を施した。全 (pp. 13)
81. 『古今小説』卷三十一「閻陰司司 馬貌断獄」 訳注	単	1999年3月	『火鍋子』第42号	
82. 『古今小説』卷二十二「木綿菴鄭 虎臣報冤」 訳注	単	1999年12月	鳴尾説林 7号	明の馮夢竜の白話短篇小説「木綿菴鄭虎臣報冤」に詳細な訳注を施した。全 (pp. 32)
83. 『警世通言』卷十三「三現身包 童	単	1999年11月	火鍋子 (翠書房) 46	明の馮夢竜の白話短篇小説「三現身包童断冤」

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
84. 『懐風藻』 所載釈辨証の詩二首の 解釈	単	1999年11月	武庫川女子大学文学部 五十周年記念論文集（ 和泉書院）	号 に詳細な訳注を施した。全（pp. 13） 『懐風藻』 所載の釈辨証の詩二首に対する従来の解 釈の誤りを指摘し、その正しい解釈を追求した。全 （pp. 13）
85. 『古今小説』 卷二十九「月明和尚 度柳翠」訳注	単	1999年1月	『火鍋子』 第41号	
86. 中国名詞選訂補其五	単	1999年09月	武庫川国文 54号	明治書院新釈漢文大系『中国名詞選』の読解の誤り を正した。全（pp. 10）
87. 『古今小説』 卷三十八「任孝子烈 性為神」訳注	単	1999年09月	火鍋子（翠書房） 45 号	明代の馮夢竜の白話短篇小説「任孝子烈性為神」に 詳細な訳注を施した。全（pp. 14）
88. 徐福日本渡来説と朝鮮の文人	単	1999年08月	岡村貞雄博士古稀記念 中国学論集（白帝社）	朝鮮の漢文文献を渉猟することにより、徐福日本渡 来説に対する歴代朝鮮人の見解を追跡した。全（pp. 29）
89. 『古今小説』 卷三十三「張古老種 瓜娶文女」訳注	単	1999年07月	火鍋子（翠書房） 44 号	明代の馮夢竜の白話短篇小説「張古老種瓜娶文女」 に詳細な訳注を施した。全（pp. 14）
90. 『古今小説』 卷三十二「遊●都胡 母迪吟詩」訳注	単	1999年05月	火鍋子（翠書房） 43 号	明代の馮夢竜の白話短篇小説「遊●都胡母迪吟詩」 に詳細な訳注を施した。全（pp. 12）
91. 中国名詞選訂補其四	単	1999年03月	武庫川国文 53号	明治書院刊『中国名詞選』（新釈漢文大系）の読解 の誤りを指摘し、その正しい解釈を追求した。全（p p. 9）
92. 『古今小説』 卷二十六「沈小官一 鳥害七命」訳注	単	1998年9月	『火鍋子』 第39号	
93. 『古今小説』 卷二十五「晏平仲二 桃殺三士」訳注	単	1998年7月	『火鍋子』 第38号	
94. 『古今小説』 卷十九「楊謙之客舫 遇俠僧」訳注	単	1998年5月	『火鍋子』 第37号	
95. 『古今小説』 卷二十一「臨安錢婆 留発跡」訳注	単	1998年11月	『鳴尾説林』 第6号	
96. 『古今小説』 卷二十八「李秀卿義 結黄貞女」訳注	単	1998年11月	『火鍋子』 第40号	
97. 中国名詞選訂補其三	単	1998年09月	武庫川国文 52号	明治書院刊『中国名詞選』（新釈漢文大系）の読解 の誤りを指摘し、その正しい解釈を追求した。全（p p. 9）
98. 『懐風藻』 読解覚書（一）	単	1998年06月	歌姫 14号	奈良時代の漢詩集『懐風藻』 所載の漢詩についての 従来の読解の誤りを正し、新たな解釈を打ち出した 。全（pp. 6）
99. 中国名詞選訂補其二	単	1998年03月	武庫川国文51号	明治書院新釈漢文大系『中国名詞選』の読解上の誤 りを訂正し、読解上有益な事項を補足したものであ る。和凝の「麦秀兩岐」より李[■]の「攤破浣溪 沙」まで。全（pp. 16）
100. 『古今小説』 卷十七「単符郎全州 佳偶」訳注	単	1998年03月	火鍋子（翠書房） 36 号	中国明末の馮夢竜の短篇小説「単符郎全州佳偶」に 詳細な訳注を施したものである。全（pp. 10）
101. 『古今小説』 卷十四「陳希夷四辞 朝命」訳注	単	1998年01月	火鍋子（翠書房） 35 号	中国明末の馮夢竜の短篇小説「陳希夷四辞朝命」に 詳細な訳注を施したものである。全（pp. 10）
102. 中国名詞選訂補其一	単	1997年12月	武庫川国文50号	明治書院新釈漢文大系『中国名詞選』の読解上の誤 りを訂正し、読解上有益な事項を補足したものであ る。韋応物の、「調笑」より欧陽炯の「定風波」ま で。全（pp. 10）
103. 『古今小説』 卷十三「張道陵七試 趙昇」訳注	単	1997年11月	火鍋子（翠書房） 34 号	中国明末の馮夢竜の短篇小説「張道陵七試趙昇」に 詳細な訳注を施したものである。全（pp. 15）
104. 徐福と日本—清代資料述評—	単	1997年10月	東洋古典学研究 4集	日本について述べた中国清代の論説や詩文のうち、 徐福に言及しているものを取り上げて、その内容を 紹介し、必要に応じて論評を加え、もって当時の中 国人の日本認識の一面を明らかにした。全（pp. 14）
105. 『古今小説』 卷十五「史弘肇竜虎 君臣会」訳注	単	1997年09月	鳴尾説林 5号	中国明末の馮夢竜の短篇小説「史弘肇竜虎君臣会」 に詳細な訳注を施したものである。全（pp. 27）
106. 『古今小説』 卷十二「衆名姫春風 弔柳七」訳注	単	1997年09月	火鍋子（翠書房） 33 号	中国明末の馮夢竜の短篇小説「衆名姫春風弔柳七」 に詳細な訳注を施したものである。全（pp. 12）
107. 『古今小説』 卷十一「趙伯昇茶肆 遇仁宗」訳注	単	1997年07月	火鍋子（翠書房） 32 号	中国明末の馮夢竜の短篇小説「趙伯昇茶肆遇仁宗」 に詳細な訳注を施したものである。全（pp. 12）
108. 『古今小説』 卷六「葛令公生遣弄 珠兒」訳注	単	1997年05月	火鍋子（翠書房） 31 号	中国明末の馮夢竜の短篇小説「葛令公生遣弄珠兒」 に詳細な訳注を施したものである。全（pp. 9）
109. 『古今小説』 卷五「窮馬周遭際壳 [■] 媪」訳注	単	1997年03月	火鍋子（翠書房） 30 号	中国明末の馮夢竜の短篇小説「窮馬周遭際壳 [■] 媪」に詳細な訳注を施したものである。全（pp. 9）
110. 徐福と日本—元明兩代資料述評—	単	1997年03月	古田敬一教授頌寿記念 中国学論集（汲古書院 ）	日本について述べた中国元明兩代の論説や詩文のう ち、徐福に言及しているものを取り上げて、その内 容を紹介し、必要に応じて論評を加え、もって当時 の中国人の日本認識の一面を明らかにした。全（pp. 18）

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
111. 徐福齋書説について	単	1997年03月	藤原尚教授退官記念中国学論集（溪水社）	歐陽脩あるいは司馬光の作といわれている「日本刀歌」の中で、秦の徐福が日本に渡るとき焚書以前の『書経』を携えていったということが歌われた。これを徐福齋書説と名づけることにし、この説が唱えられるに至った経緯はどうであったのか、またこの説はどのように語り継がれていったのかという問題を考察した。全（pp.16）
112. 徐福に関する中国の伝説（下）	単	1997年03月	武庫川国文 49号	中国の文献に見られる徐福に関する伝説のうち、小説類に属するものについて紹介し、必要に応じて論評を加えたものである。全（pp.9）
113. 徐福に関する中国の伝説（上）	単	1996年12月	武庫川国文 48号	中国の文献に見られる徐福に関する伝説のうち、史書と地誌に属するものについて紹介し、必要に応じて論評を加えたものである。全（pp.9）
114. 『古今小説』巻三「新橋市韓五売春情」訳注	単	1996年09月	鳴尾説林 4号	中国明末の馮夢竜の短篇小説「新橋市韓五売春情」に詳細な訳注を施したものである。全（pp.17）
115. 『古今小説』巻十六「范巨卿鶏黍死生交」訳注	単	1995年09月	鳴尾説林第三号	我が国の上田秋成の『雨月物語』中の一編「菊花の約」の粉本とされた中国明末の短篇小説「范巨卿鶏黍死生交」（『古今小説』巻十六に詳細な訳注を施したものである。全（pp.13）
116. 音楽と感化—戦国末秦漢儒家音楽思想についての一考察—	単	1989年10月	哲学第41集	
117. 修養と養生—中国古代思想におけるその一体性—	単	1988年2月	坂出祥伸編『中国古代養生思想の総合的研究』（平河出版社）所収	
118. 感化に関する思想をめぐって—『管子』内業等諸篇の思想的立場づけの試み—	単	1988年10月	哲学第40集	
119. 王昌齡の詩「芙蓉楼送辛漸」の結句	単	1987年4月	中国研究集刊黄号	
120. 『管子』白心篇の思想および其の「心術」等三篇との関係	単	1984年6月	香川中国学会報第12号	
121. 『管子』四篇における気の思想の性格	単	1984年3月	高松工業高等専門学校研究紀要第19号	
122. 『管子』四篇における神と道	単	1984年10月	日本中国学会報第36集	
123. 『管子』の「心術」上下および「内業」の三篇について	単	1983年3月	高松工業高等専門学校研究紀要第18号	
124. 『呂氏春秋』に見える名実論および正名論の性格	単	1982年3月	高松工業高等専門学校研究紀要第17号	
125. 『呂氏春秋』の養生説と政治思想	単	1982年10月	哲学第34集	
126. 名家的思惟の成立まで	単	1981年2月	香川中国学会報第11号	
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. 矢土氏澹園を訪れた清国文人—王治本と阮丙炎—	単	2017年8月27日	第39回書論研究会大会	
2. 「漢文訓読」を考える—「漢文」・「漢字」・「羅文英訳」	共	2015年12月12日	武庫川女子大学言語文化研究所シンポジウム—言語文化の諸相：注釈、翻訳、翻訳語	
3. 同時代中国知識人の半植民地・植民地朝鮮観	単	2013年8月24日	東アジア日本語教育・日本文化研究学会2013年度国際学術発表大会。於韓国・新羅大学校。	
4. 晩清旅日華人対日本文化的引導	単	2011年6月22日	世界海外華人研究学会（ISSCO）Hong Kong Conference（海外華人—文化、宗教と世界観）。於香港中文大学	
5. 明治期日中文化交流一斑—高知における漢詩文を例として	単	2011年10月21日	西安交通大学第一屆“東北亜地区文化交流与和平發展”国際学術討論会における主題報告。於中国・西安交通大学。	
6. 中国人対日抛時期韓国社会状況的觀察与思考—以魏建功在韓体験為例	単	2010年7月	“韓国文学与社会变革”国際学術研討会。於中国・威海市。	
7. 日本漢学家松崎鶴雄在中国東北地	単	2009年9月	“近代東亜的接触空間	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
区的学術、文藝交流			—以中国東北地域為 中心（1895—1945年） ” 國際學術研討會。中 国吉林市・北華大學。	
8. 松崎鶴雄と中国の碩学たち	単	2008年2月29 日	第5回MKCR國際學術交流 フォーラム。於中国・ 山東大學威海分校。	
9. 徐福東渡日本説与東亜三国的民族 意識	単	2007年5月19 日	2007山東大學韓國學院 國際學術會議（從閉關 鎖國到達爾文主義世界 —未來展望）。於中 国・山東大學威海分校 。	
10. 道真・忠臣の対渤海使贈答詩を讀 む	単	2007年4月28 日	韓國日本文化学会2007 年度春季國際學術大會 。於韓國・??大學校 。	
11. 松崎鶴雄（1867-1949）と中国	単	2007年12月1 日	第4回MKCR國際學術交流 フォーラム。於中国・ 西安交通大學。	
12. 渡唐留学僧積辨正の漢詩二首の解 釈について	単	2006年9月2 日	和漢比較文学会・台湾 大學共催特別研究発表 會。於台湾・台灣大學 。	
13. 日本人是如何理解徐福東渡説的	単	2006年6月4 日	北京徐福國際學術討論 會。於中国・北京國際 會展酒店。	
14. 松下見林の太伯・徐福観	単	2006年4月29 日	韓國日本文化学会2006 年度春季國際學術大會 。於韓國・祥明大學校 。	
15. 三神山在日本説と韓國の文人	単	2005年9月12 日	第2回MKCR國際學術交流 フォーラム。於韓國・ 韓南大學校。	
16. 神戸発行『日華新報』の基礎的考 察—明治大正期の日中兩國語新聞 —	単	2004年10月	武庫川女子大學關西文 化研究センターセミナー —第4回。於武庫川女 子大學。	
17. 絶海中津と朱元璋の唱和詩をめぐ って	単	2001年12月	和漢比較文学会。於中 国・中山大學。	日本の僧絶海中津は入明後、1376年に太祖朱元璋に 謁見した。その際、太祖は我が国の「熊野古祠」に ついて顧問し、詩を賦すよう求めた。かくして誕生 した絶海と明太祖による詩の唱和は、日中兩國それ ぞれにおいて行われてきた徐福伝説に偶然めぐって きた一つの結節点であった。その結節点の前後及び 周囲に広がる日中それぞれの特徴的な部分に照明を 当てるべく、史料を収集し検討した。
18. 徐福東渡日本伝説と韓國文人	単	2000年08月2 6日	韓國中国学会第20次中 国國際學術大會。於 韓國・建国大學校。	徐福東渡日本伝説の韓國における種々相を追跡し 、この伝説に対する歴代の韓國の文人の見解を日本 文人の見解と比較しつつ論述した。
19. 徐福渡来説雜考—主として日・朝 の資料に拠り—	単	1998年05月	阪神中哲談話會。於茨 木市市民會館。	徐福渡来説について言及した日本と朝鮮の歴代の文 献を紹介し、それらの文献によって知ることのでき る日本と朝鮮の歴代の文人たちの思想について述べ た。
20. 『管子』の「白心」篇について	単	1983年2月5 日	香川中国学会 第43回 例会。於香川大學。	
21. 『楚辞』遠遊篇について	単	1983年10月1 日	日本中国学会昭和58年 度大會研究発表。於 広島大學。	
22. 『管子』の「心術」上下および「 内業」篇について	単	1982年11月6 日	広島哲学会 第33回学 術研究発表大會。於 広島大學。	
23. 刑名參驗術について	単	1981年6月7 日	中国四国地区中国学会 第27回大會。於愛媛 大學。	
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. (コメント) 武庫川女子大學言語 文化研究所シンポジウム——ネー ミングのコトバ学——	共	2017年2月18 日	武庫川女子大學言語文 化研究所	第2部：シンポジウム（討論）におけるコメント

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
2. (講演) 『一六遺稿』初探——巖谷一六 漢詩文作品の探索・収集	単	2016年12月23日	『書論』第42号合評会並びに研究報告会	
3. (講演) 小山松溪《西湖折柳》初探	単	2015年3月14日	“異域之眼——日本人的漢文游记研究”学術研討会。於中国・杭州浙江工商大学	
4. (講演) 明治前期神戸の華僑華人——漢詩文集・新聞・遊記等を主な資料として	単	2011年4月23日	神戸華僑華人研究会第21回記念講演。於神戸市中央区中華会館。	
5. (講演) 明治期滞日清国人王治本と地方の漢詩人たち	単	2011年11月4日	東アジア日本語教育・日本文化研究学会2011年度国際学術大会における特別後援。於フランス・パリ国際大学都市。	
6. (翻訳) 梁啓超と韓国近代啓蒙思想	単	2008年11月10日	関西文化研究叢書9「東アジアにおける文化交流の諸相」	牛林杰「梁啓超と韓国近代啓蒙思想」（関西文化研究叢書9「東アジアにおける文化交流の諸相」）の翻訳
7. (翻訳) 「壬辰倭乱」に関する中韓学会の見解について	単	2008年11月10日	関西文化研究叢書9「東アジアにおける文化交流の諸相」	劉宝全「中韓両国学界關於“壬辰倭乱”研究的觀點評析」（関西文化研究叢書9「東アジアにおける文化交流の諸相」）の翻訳
8. (講演) 徐福渡来説と東アジアの民族意識	単	2007年3月25日	新宮徐福協会主催講演会。於新宮商工会議所。	
9. (翻訳) 逆流と暗流（下）	共	2004年5月	晃洋書房	
10. (翻訳) 逆流と暗流（上）	共	2003年11月	晃洋書房	
11. (講演) 西島函南と孫文・神戸華僑	単	2002年6月	神戸華僑華人研究会・孫文研究会合同 記念講演。於神戸・中華会館。	
12. (あとがき) 日本文訳本訳者後言	単	2000年9月	『韋旭昇文集』（中国・中央編訳出版社、2000年9月）第3巻所収。p. 364-368	
13. (翻訳) 南京陥落・平和への祈り（下）	共	2000年5月	晃洋書房	
14. (翻訳) 南京陥落・平和への祈り（上）	共	2000年2月	晃洋書房	
15. (翻訳) 中国古典文学と朝鮮	共	1999年3月	研文出版	
16. (翻訳) 中国古典読法通論	共	1992年8月	朋友書店	
17. (翻訳) ある「右派」作家の回想	単	1992年1月		学生社
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
	和漢比較文学会 日本中国学会